

一般質問



金井田
議員

○木育の推進について

質 市長が令和2年2月22日2時22分という、インパクトのあるぞろ目の日にウッドスタート宣言をされ、木育の推進を提唱されました。木育とは子どもから大人までを対象に、木材や木製品との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めて木材のよさや利用の意義を学ぶための教育活動とされていますが、現状子どもが中心となっているように見受けられます。ウッドスタート宣言をしたことと、本市の木育活動について、考えをお尋ねします。

市長 ウッドスタート宣言がなぜ子どもからなのかというと、ブックスタートという取り組みがあります。子どもが最初に触れる適切な本をプレゼントするという流れと同じように、ウッドスタートは、子どもが最初に触れるおもちゃは木のおもちゃがいいですよということから派生して、子どもの頃から木に触れる経験を積むことで子どもたちが木に親しみ、大人になっていく、そのスタートとして取り組みました。木育を推進し、確実に事業を進めていく上では、木育の意義を子どもから大人ま

で市民の皆さまへしっかりと伝えし、理解を得ることが不可欠です。で、年齢に関係なく、より多くの市民にご参加いただける取り組みを進めます。

○元寇750年を迎えるにあたっての事業計画について

質 6月の定例会において宮本議員より元寇750年祭の準備について質問があり、元寇の折、活躍した鎌倉武士に関連した地域とのつながりを深め、ネットワーキングづくりをより一層構築して連携を深めてまいりたいという市長の答弁がありました。が、半年経過した現在の進捗状況についてお尋ねいたします。

市長 現在元寇ゆかりのネットワーク事業をすすめているところです。4月下旬から5月初旬にかけ、元軍と戦った鎌倉武士にゆかりのある九州各地の28自治体を私が直接訪問し趣旨を伝えました。7月20日には鎌倉市長を訪問し、参加の同意をいただきました。また、9月29日には本市を含め賛同いただいた24自治体のうち22自治体で、ウェブによるキットオフミーティングを開催し、このネットワークの規約の制定、役員の選出、実施事業の検討を行ったところです。このような活動を活発化させ、水中遺跡保護に対する世論の盛り上がりにも結びつけたいと考えています。

一般質問



武部
議員

○梶谷城址の保存活用について

質 梶谷城址の樹木の伐採をしていただき素晴らしい景観となりました。今後は本丸、大手門側の石垣の修復整備、登山道路の整備に向けて、文化財保存活用地域計画の中で検討をお願いしたいと思いますが、見解をお願いします。

文化財課長 文化財保存活用地域計画中のアクションプランとして、梶谷城については、施設整備を行うよりも活用策を検討し、ソフト面で充実させていきたいと考えています。修復となると、県指定の史跡のため、状況によっては発掘調査や形状変更の手続が必要となることから、注意喚起のための応急策を講じているところです。

○人口減少克服に向けた対策について

質 人口減少が進み、11月末で2万1039人となりました。外国人の方を含むとありますが、外国人の人数は何人ですか。また、市としては人口減少対策をどのように考えていますか。

人手不足で外国人の看護・介護職

員の方は今後増加すると思います。地域住民との交流機会が限られ、寂しい思いをされていると思います。そして松浦の文化、しきたり、人との接し方、言葉の教育が急務だと思います。市としての対応が必要だと思っていますが、見解をお願いします。

政策企画課長 外国人の人口については令和5年11月末現在で308人となっています。市内には外国人を雇用している企業が多く、雇用者数も年々増加傾向にあります。外国人の方々には地域住民との交流機会も少なく、勤務先以外で生活関係の相談をする場所が多くないのが現状と伺っています。

そういった現状を踏まえ、今年度政策企画課では、長崎県国際交流会と連携し、地域住民が外国人とコミュニケーションを図りながら交流し、支援する市民ボランティアを養成するため、日本語ボランティア養成講座を開催いたしました。10月15日から12月10日まで、計5回の講座を開催し、延べ36人の参加があったところです。

イベントや地域で交流の場を持つことでお互いが顔見知りになり、外国人の方々も挨拶や相談ができるようになってくると考えています。日本人、外国人の相互理解がより深まるよう、引き続き関係団体と連携協力して対応していきたいと考えています。